

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34



徳島駅から市営バスでお越しの方

- 6番乗り場: 東部循環線(右回り)「市民病院玄関前」(下車すぐ、または「市民病院前」下車徒歩2分)
 - 6番乗り場: 中央市場線「市民病院前」(下車徒歩2分)
 - 7番乗り場: 川内循環線(左回り)「市民病院玄関前」(下車すぐ、または「北常三島」下車徒歩4分)
- ※「市民病院玄関前」に停車するのは全ての路線バスではありません。

自家用車でお越しの方

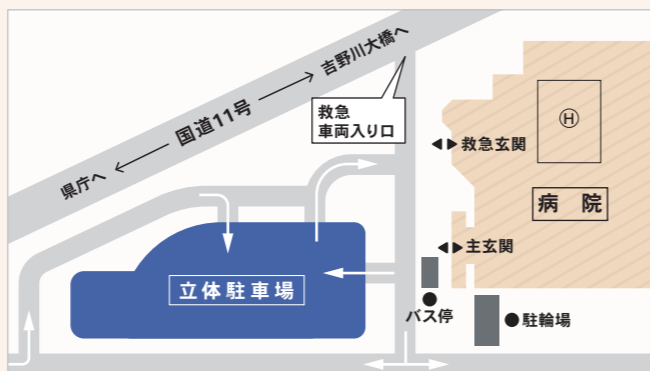
国道11号線・吉野川大橋の南の北常三島町交差点(歩道橋があります)を東へ曲がってすぐ

駐車場について

- 立体駐車場
- ・収容台数: 251台(うち身体障がい者等用駐車場8台)
- ・利用時間: 24時間

徳島駅から徳島バスでお越しの方

- 16番乗り場: 鳴門線(バイパス経由)ウチノ海総合公園行き「北常三島」(下車徒歩4分)
- 16番乗り場: 鳴門線(バイパス経由)鳴門公園行き「北常三島」(下車徒歩4分)



病院見学はお気軽にお問い合わせください!

病院見学は、随時受け付けています。ご希望の方は、総務管理課までメール又は電話でお問い合わせください。

徳島県では、徳島県内で臨床研修や専門研修の実施を検討する、県外の医学生や医師の皆様が、徳島県内の基幹型臨床研修病院や専門研修基幹型施設を見学するための費用の一部を助成する「研修病院見学助成事業」を実施しています。

本事業の利用を希望する方は、以下のリンクから対象者や支給要件を確認し、右QRコードの「申込フォーム」から見学申込みを行ってください。

県外医学生の「徳島県病院見学支援事業」申込フォームはこちら



徳島市民病院 TEL: 088-622-9323 FAX: 088-622-5313 E-mail: kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp

Webサイトはこちら <https://www.city-tokushima-hosp.jp>



令和9年度
徳島市民病院
初期臨床研修
プログラム

徳島市民病院

ACTIVE!

自ら動く、その一歩が成長になる。

在ると安心、 地域医療の要。

徳島市民病院 基本方針

- 一、医療の安全管理を徹底し、患者中心の医療を行います。
- 一、救急医療を含めた急性期医療と高度で専門性の高い医療を提供します。
- 一、地域医療向上のため連携を密にし、教育と研修に努めます。
- 一、災害時の救急患者の受け入れなど災害救急医療に対応します。
- 一、公共性と経済性に配慮して、経営の安定化に努めます。



徳島市民病院 理念 思いやり・信頼・安心

思いやり

一人ひとりの声に耳を傾け、心に寄り添う医療を大切にします。

信頼

確かな知識と誠実な姿勢で、地域の皆さまに信頼される病院へ。

安心

患者さんご家族が穏やかに過ごせるよう、心を込めて支えます。



診療科一覧

・内科	・血液腫瘍内科	・産婦人科	・消化器外科	・放射線科
・呼吸器内科	・緩和ケア内科	・婦人腫瘍科	・甲状腺外科	・麻酔科
・循環器内科	・腫瘍外科	・小児科	・乳腺外科	・病理診断科
・消化器内科	・整形外科	・耳鼻咽喉科	・大腸・肛門外科	・臨床検査科
・血液内科	・形成外科	・腫瘍精神科	・肝臓・胆のう・膵臓外科	・心臓血管外科 (外来のみ)
・糖尿病・代謝内科	・脳神経外科	・リウマチ・膠原病内科	・内視鏡外科	
・内視鏡内科	・皮膚科	・外科	・眼科	
・腫瘍内科	・泌尿器科	・呼吸器外科	・リハビリテーション科	

臨床研修理念

徳島市民病院は「思いやり・信頼・安心」を提供できる医師となるために、医師としての人格を涵養し、全人的医療の提供ができる能力を育てます。

臨床研修 基本方針

- 一、全人的医療を提供できるように、プライマリ・ケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につけます。
- 一、急性期病院としての役割を理解し、急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える技能を修得します。
- 一、地域連携を理解し、地域の医療従事者と円滑な連携を行う能力を身につけます。
- 一、多職種連携によるチーム医療を実践し、他の職種と協調・協力する姿勢を身につけます。
- 一、地域保健を理解し、適正な医療を提供できるようにします。

院長メッセージ

当院で多くの経験を積みながら、実践的な臨床力を身につけてください。

当院は「思いやり・信頼・安心」という理念のもと、307床を有する公的医療機関として急性期医療、地域医療、災害時医療を基盤に、地域の皆様に「ここに在って欲しい、在ると安心」と思っていただけの中核病院としての役割を果たすべく、日々病院運営に取り組んでおります。

当院の柱であるがんセンター、地域周産期母子医療センター、関節治療センターの「3つのセンター」を中心に多職種が連携したチーム医療を実践しており、専門性の高い分野にも力を入れております。また、ロボット支援手術や無痛分娩など、先進的な医療にも積極的に取り組んでおります。救急医療においては、年間3,000件台を超える救急車を受け入れるなど、地域の急性期医療を支えています。さらに、災害医療についてもDMATを中心に体制を整えています。初期研修では、自由度の高いプログラムの中で、自分の興味や将来像に合わせた学びができる一方、指導医との距離が近く、安心して相談しながら成長できる環境になっております。

「研修は厳しく、しかし楽しく」をモットーに、当院で多くの経験を積みながら、患者さんに寄り添う姿勢や社会人としての礼儀も大切に、実践的な臨床力を身につけていただきたいと思います。

医師としての最初の2年間は、これからの医師人生の土台となる大切な時期です。是非一度、見学・研修にお越しいただき当院の雰囲気を実際に感じに来てください。皆様とお会いできることを楽しみにしております。



徳島市民病院院長 日野 直樹

研修担当メッセージ

「まずはやってみる」を支えるサポート体制が充実。挑戦と成長を実感できる環境です。

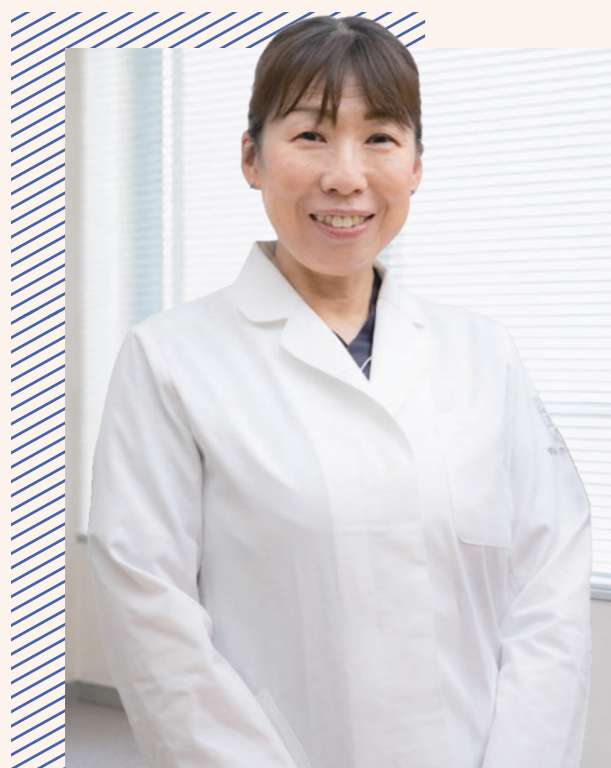
初期臨床研修は、将来の医師としての能力やキャリア形成に大きな影響を及ぼすため、どんな施設でどのような研修を行うかは極めて重要です。

当院の初期臨床研修プログラムは、「自ら考え、選び、挑戦する」ことを大切にしています。必修科を基盤としつつ、研修医の興味や将来像に応じて柔軟に研修内容を設計できる自由度の高い研修プログラムが大きな特徴です。

基幹となる内科研修は、消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝、血液内科の5つの専門分野別に密度の高い研修を受けることができます。外科系の診療科は手術症例が非常に多く、様々な手術に参加できます。産婦人科は小児科とともに徳島県の周産期医療の要を担っており、分娩から新生児医療の経験を豊富に積めます。救急研修では徳島大学救急集中治療部医師の指導のもとで初期対応を学べます。学会発表や論文作成も積極的に支援しています。

診療科を問わず研修医と指導医との距離が近く、「まずはやってみる」を支えるサポート体制が充実しており、挑戦と成長を実感できる環境です。

将来目指す方向がまだ決まっていなくても、幅広い経験を積みながら自分らしいキャリアを見つけることができます。自由度と実践力、その両方を兼ね備えた研修環境で、長い医師人生において最も大切な最初の一步を踏み出してみませんか。皆さんが充実した研修生活を送れるように全力でサポートします。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



臨床教育センター長 岸 史子

臨床研修施設(協力病院・協力施設一覧)

協力施設

国民健康保険勝浦病院
〒771-4306
勝浦郡勝浦町棚野字鴻畑 13 番地 2

沖の洲病院
〒770-0862
徳島市城東町 1 丁目 8-8

美波町国民健康保険美波病院
〒779-2109
海部郡美波町田井105-1

かさまつ在宅クリニック
〒770-8054
徳島市山城西 4 丁目 13-3

近藤内科病院
〒770-8008
徳島市西新浜町1丁目6-25

虹の橋葵ホスピタル
〒771-4266
徳島市八多町三反地43番地

イツモスマイルクリニック
〒770-0022
徳島市佐古二番町 5-11

つるぎ町立半田病院
〒779-4401
美馬郡つるぎ町半田中敷234-1

水の都記念病院
〒770-0051
徳島市北島田町1丁目46番11

豊田内科
〒770-0861
徳島市住吉2丁目2-35

徳島往診クリニック
〒770-8053
徳島市沖浜東2丁目17

三好市国民健康保険市立三野病院
〒771-2304
三好市三野町芝生 1270-30

一般社団法人徳島市医師会
〒770-0847
徳島市幸町3丁目77

鳴門山上病院
〒772-0053
鳴門市鳴門町土佐泊浦高砂205-29

TAOKA こころの医療センター
〒770-0862
徳島市城東町 2 丁目 7-9

協力病院

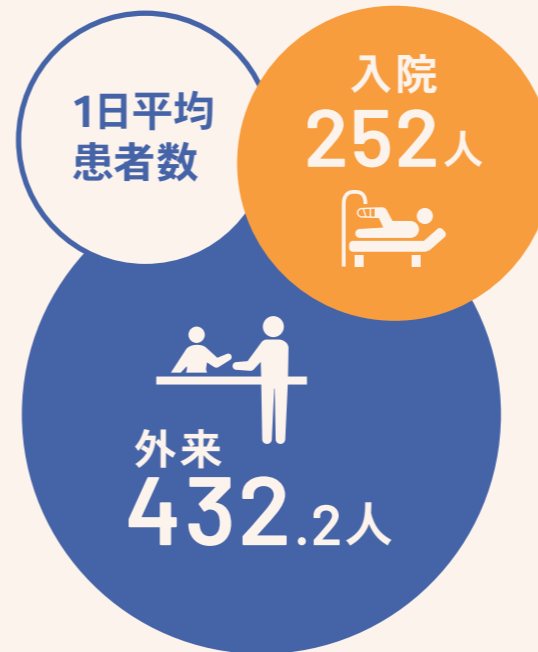
徳島大学病院
〒770-8503
徳島市蔵本町2丁目50-1

徳島健生病院
〒770-0805
徳島市下助任町4丁目9

基本的知識、緊急の手技、検査などを習得できます！



数字でわかる!臨床指標 ※令和7年度実績



年間手術件数

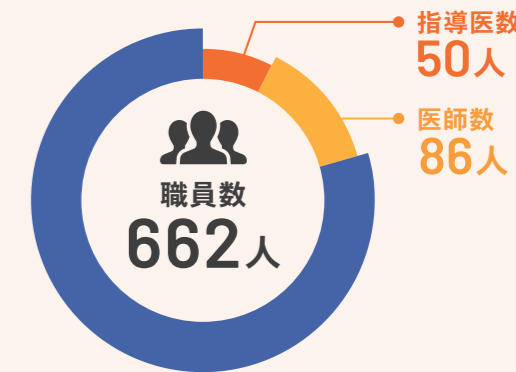


平均在院日数

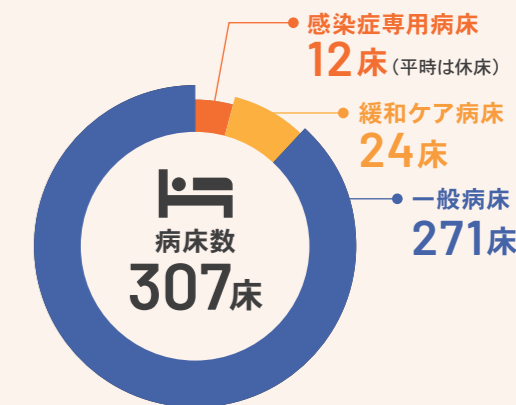


職員の状況

※令和8年4月1日現在。指導医数は指導医養成講習会修了者の人数。



病床数



救急搬送数



救急患者総数



徳島市民病院の初期臨床研修はマンツーマン方式を基本として指導を行います。

医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず、医学・医療の社会的ニーズを認識し、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、プライマリーケアの基本的な診療能力を身につけることを目的とします。徳島大学病院及び臨床研修協力施設と協力して臨床研修を行います。内科24週、救急部門12週(うち8週は麻酔科4週、2年次の当直勤務4週を換算)、外科8週、小児科4週、産婦人科8週、精神科4週、一般外来4週及び地域医療4週を必修とし、残りは選択必修科及び選択科の研修を計40週行います。地域医療研修では、県内で在宅医療を行っている診療所などで研修を行います。



必修科目一覧

計64週

+救急当直(週1回程度)			
内科…24週			
産婦人科…8週	外科…8週	一般外来4週	精神科4週
救急12週	※うち8週は麻酔科4週、救急当直を4週に換算		小児科4週
	地域医療4週		

選択科目一覧

計40週

+救急当直(週1回程度)			
内科	外科	小児科	耳鼻咽喉科
眼科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科
産婦人科	整形外科	麻酔科	放射線科
病理診療科			
…………… 以下は協力病院での実施となります ……………			
形成外科・美容外科		救急集中治療科(ICU)	
脳卒中センター		超音波センター	
リハビリテーション部			

先輩の研修プログラム ロールモデル

自分の希望に沿って研修でき、幅広い分野の経験を積むことができます。

外科系中心に興味ある分野や、将来のために経験しておきたい分野を選択しています。当院に形成外科やICUはありませんが、協力病院で研修できるよう調整くださり、とても柔軟に対応していただいています。自分の希望に沿って幅広い経験を積める環境だと思います。

徳島大学/徳島県出身
尾関 さくら



以前から興味があった整形外科を早めに選択し、進路を考える機会に

当院では1年目から選択科を回ることができ、ローテ直前まで調整できるため、自分の興味や将来を考えながら柔軟に研修を組めます。私は以前から興味があった整形外科を早めに選択し、進路を考える良い機会にしました。また、当院にICUがないため、重症患者管理を学ぶ目的で大学ICUを選択しました。最後の5ヶ月は自分の志望科に合わせて選択をしました。

徳島大学/広島県出身
佃 直行



研修医たちの救急当直トーク /



Q. 救急当直で学びになったこと、大変だったことはありますか？

common diseaseが多く、研修医がファーストタッチから診断まで主体的に関われるため力がついたと感じます。エコーや縫合、シーネ固定などの処置も多く経験できました。一方で、限られた時間の中で重症度を見極め、対応していく難しさも感じました。

臨床では国家試験のような典型的な症例ばかりではないということを実感しています。患者さんの主訴もとても大切な情報ですが、典型的な主訴ではないこともしばしばで、主訴から鑑別疾患を絞りすぎると思わぬ疾患が潜んでいることもあると学びました。

救急当直では、初期対応の難しさや迅速な判断の重要性を日々実感しています。大変な場面も多くありますが、多くの症例を経験できるため、自分自身の成長を感じながら研修に取り組むことができます。

Q. 救急の現場ならではのやりがいについて教えてください。

救急では、自身の初期対応によって患者状態の改善を実感できた時に大きな充実感があります。また、緊急度を的確に判断し、迅速な対応がその後の転帰に直結する点に救急ならではの魅力を感じます。

1~2か月ごとに変わる研修と異なり、当直は研修中の診療科に関わらず2年間続けるため、自分の成長の指標になりやすいと思います。初めての当直で何もできなかったところから、「前回よりスムーズに問診ができた」「今回はこの疾患を疑って対応できた」のような、少しでも過去の自分よりできたことが実感できると嬉しいです。

救急では軽症から重症まで幅広い症例を経験できるため、日々大きなやりがいを感じています。患者さんが元気になって帰られる姿を見るたびに、救急医療の魅力と責任の大きさを改めて実感しています。

研修医INTERVIEW

徳島市民病院で初期臨床研修医として働く先輩からのメッセージです



福永 翼

研修医
1年目

主体的に動けば動くほど、それに応えてくれるフィールドがあります。

当院の研修の最大の魅力は、圧倒的な「自由度の高さ」です。決まり切ったルールを進むのではなく、自分の興味や将来の志望科に合わせて、自分だけの研修プログラムを柔軟に構築できます。主体的に動けば動くほど、それに応えてくれるフィールドがここにはあります。また、上級医の先生方やコメディカルの方々はとても温かく、病院全体で研修医を育てようという雰囲気にあふれています。自ら学びをデザインする自由さと、困った時には職種を超えて支えてくれる安心感。この最高の環境で、責任感を持って症例に向き合う経験は、医師としての自立を確実に早めてくれます。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています！



杉浦 舞

研修医
1年目

"やってみる"を応援してくれる場所

当院は、上級医の先生方やコメディカルの皆さんとの距離が近く、分からないことを相談しやすい温かい環境です。日々多くの症例を経験できるだけでなく、自分で考えながら診療に参加できる機会も多く、毎日成長を実感しています。救急対応や手技を経験する機会も多く、実践的に学ぶことが魅力です。また、研修医同士も仲が良く、忙しい中でも同期と支え合いながら充実した研修生活を送っています。診療科を問わず先生方が気にかけてくださるため、安心して学べる環境だと感じています。ぜひ一度見学に来て、病院の雰囲気を感じてみてください。



谷岡 大輔

研修医
1年目

主体性を尊重する、自由度の高い研修

当院では、研修医同士の仲が良く、互いに支え合いながら学べる温かい雰囲気があります。ローテーションは自分の興味や将来像に合わせて柔軟に組むことができ、主体的に研修を進められる点が大きな魅力です。困ったときには先輩研修医が丁寧に教えてくれ、指導医の先生方も気軽に相談に乗ってくださるため、安心して診療に取り組みます。幅広い症例を経験しながら、確かな臨床力を身につけたい方にとって最適の環境です。一緒に徳島の医療を支える仲間として成長していきましょう。

患者支援センター



患者支援センターは、総合相談室、入退院支援室、地域連携室、ボランティア室、広報管理室から構成されています。医師、看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、事務職員等が協働して、患者さんの受診から入退院・退院後の生活まで安心した療養が受けられるようサポートします。

外来



外来診療科は13科あり6ブロックに分かれて診療しています。禁煙外来、女性外来など専門外来を含めた診療補助のほか、ストーマ外来、緩和ケア外来、乳腺外来、化学療法室において各分野の認定看護師による質の高い看護を提供しています。がんセンターでは、専門医師と共に多職種チームで協働し患者さんと家族の心に寄り添い、充実したケアを目指して取り組んでいます。

食堂



病棟



救急室



当院の救急室は、二次救急として地域の医療機関と連携し、役割分担を図りながら、救急車で搬送される患者さんや、他の医療機関からの救急患者を受け入れています。夜間・休日は院内トリアージを実施し、緊急度の高い患者さんから診療を行っています。

手術室



手術室では、ナビゲーションやロボット支援手術・手の外科など、年間4,500件の手術を行っています。新しい知識と技術を学習し、患者さんに安心して安全な医療・看護が提供できるようにスタッフ一同取り組んでいます。

HCU (High Care Unit)



HCUは緊急を要する医療を行うところであり、集中管理、重症患者病棟です。集中治療を必要とする手術後の患者さんを始め、急性呼吸不全・循環不全・代謝不全などの重症患者さんを24時間受け入れる体制を整えています。スタッフ一同、安全で信頼のおける看護が提供できるよう研鑽を積んでいます。

NICU (Neonatal Intensive Care Unit)



NICUは、地域周産期母子医療センターに認定されており、在胎32週以降の新生児を受け入れ2500g未満の低出生体重児、在胎37週未満の早産児、新生児仮死、または何らかの疾病を持っている赤ちゃんたちの集中治療を行っています。生まれてくるすべての生命を尊重・祝福し、赤ちゃんと家族中心の看護を提供するためスタッフ一同自己研鑽に努めています。

応募資格

大学の医学部または医科大学を卒業し、医師免許を有する者又は令和9年3月医師免許取得見込者

募集人数 7名

研修期間 2年間

選考方法 小論文及び面接

申込期間

令和8年8月28日(金)まで
※申込期間を延長する場合がございますので、詳細は徳島市民病院ホームページをご覧ください。

面接日

申し込み受付後に日程調整し、応募者に通知します。

提出書類

・卒業(見込)証明書 ・臨床研修申込書 ・小論文 ※課題は申し込み受付後に、応募者に送付します。
(当院HPからダウンロード可 <https://www.city-tokushima-hosp.jp/recruit/recResident/>)

申込方法

臨床研修申込書と卒業証明書、または卒業見込み証明書を徳島市民病院に持参いただくか、封筒表面に「初期臨床研修申込」と朱書きし、簡易書留郵便でお送りください。持参される場合は、平日(8:30~17:00)にお願いいたします。

給与等

基本給

1年次 月額379,000円程度 ※地域手当、特殊勤務手当を含む
2年次 月額389,000円程度 ※地域手当、特殊勤務手当を含む

賞与

給与の約4.65ヶ月分を支給

その他手当

時間外勤務手当、通勤手当、宿直手当、特殊勤務手当、退職手当

休日

土・日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)

休暇

年次有給休暇12日、夏季休暇3日ほか忌引、婚姻、育児等に係る特別休暇あり

社会保険

健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は各法令の定めにより加入します。

災害補償

労災保険 ※2年目以降は、地方公務員災害補償基金の補償対象となります。

研修参加等

学会・研修参加などの旅費・参加費支給あり

育児支援

子育て中の医師の育児支援を行っています。
1. 育児休業 子が1歳になるまで取得できます。
2. その他、妊産婦検診、子の看護休暇等の特別休暇があります。

勤務時間

1日 7時間45分(8:30~17:00)

提出及び問い合わせ先

徳島市民病院
事務部総務管理課庶務担当

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地
TEL: 088-622-9323 E-mail: kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp